

# 乳児に対する気道異物除去の方法

- 気道異物による窒息と判断した場合は、ただちに119番通報を誰かに依頼し、異物除去を行ってください。
- 反応がある場合には、乳児に対しては背部叩打と胸部突き上げを実施します。
- 背部叩打法は、まず救助者の片腕の上に乳児をうつぶせに乗せ、手のひらで乳児の顔を支えながら、頭部が低くなるような姿勢にします。もう一方の手の付け根で、背中の中を異物が取れるか反応がなくなるまで強くたたきます。
- 胸部突き上げ方は、救助者の片腕の上に乳児の背中を乗せ、手のひらで乳児の後頭部をしっかりと支えながら、頭部が低くなるよう仰向けにし、もう一方の手の指2本で、胸の真ん中を力強く数回連続して圧迫します(心肺蘇生の胸骨圧迫と同じ要領です)。



図 43 乳児への背部叩打法



図 44 乳児への胸部突き上げ法

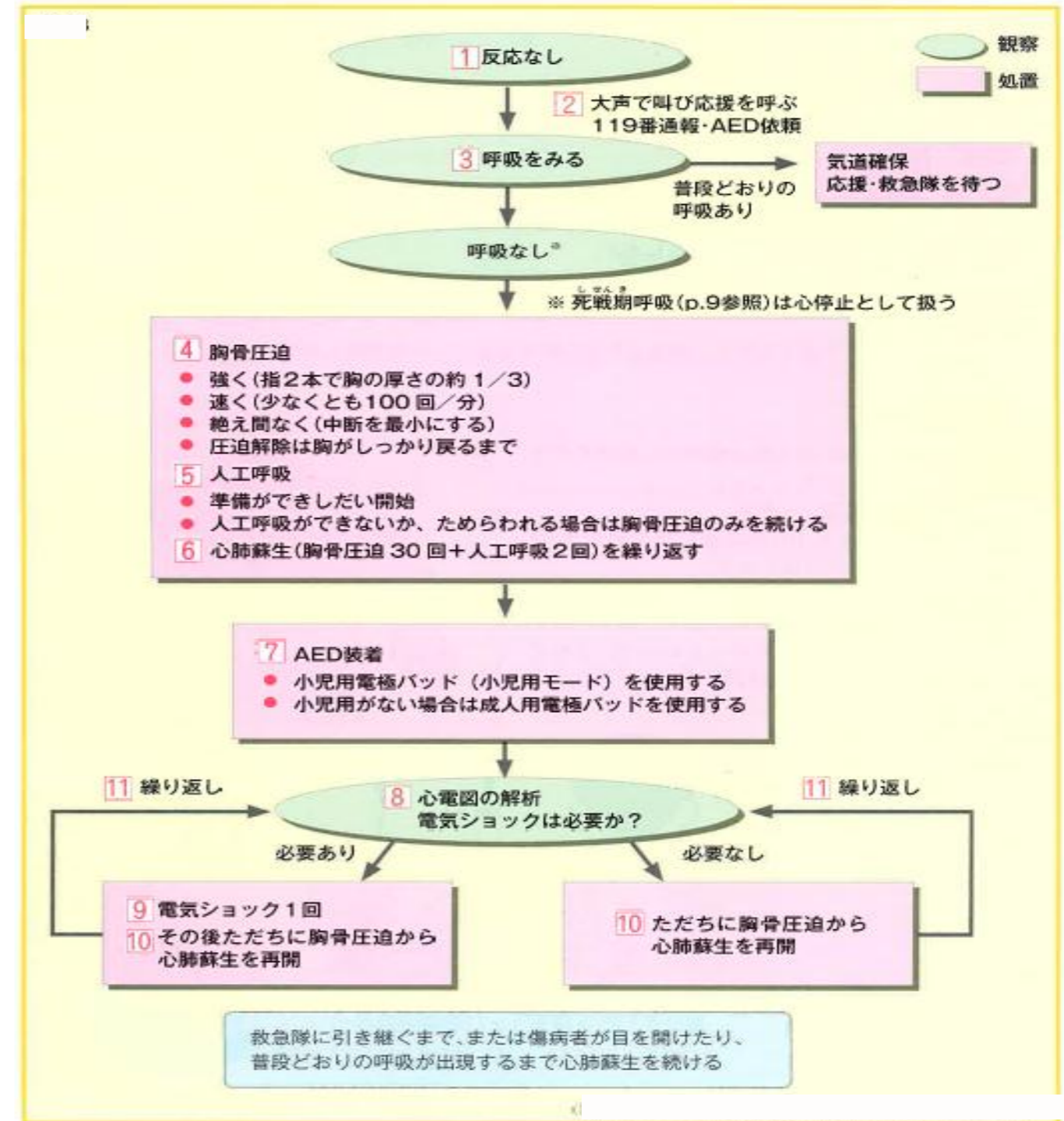
## ポイント

- 乳児に対しては、腹部突き上げ方を行ってはいけません。
- 反応がなくなった場合は、乳児に対する心肺蘇生の手順を開始します。救助者が一人の場合は、まず119番通報とAEDの手配を行い、通常的心肺蘇生を行ってください。

# 救急車が来るまでに！

あなたの、勇気ある応急手当で救命率は向上します。  
大切な人の命を救えるのは、あなたです！！

## 乳児の救命処置の流れ (心肺蘇生と AED の使用)



Blank area for notes or practice, containing horizontal dashed lines.



宮崎県東児湯消防組合 消防署  
**火災・救急・救助は 119**  
 消防本部・消防署  
 TEL 22-1360  
 FAX 22-1370  
 都農分遣所 TEL(FAX) 25-0698  
 川南分遣所 TEL(FAX) 27-0578  
 新富分遣所 TEL(FAX) 33-1019

# 乳児に対する救命処置の手順

## ①反応(意識)を確認する

- 声をかけながら反応があるかないかを確認めます。このとき、足の裏を刺激することも有効です。

## ②助けを呼ぶ

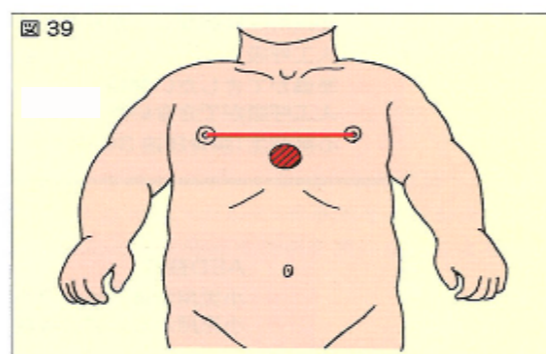
- 反応がなければ、大きな声で助けを求めます。
- 協力者が来たら、「あなたが119番へ通報してください」「あなたはAEDをもってきてください」と具体的に依頼します。

## ポイント！

- 救助者が一人の場合や、協力者が誰もいない場合には、次の手順に移る前に、まず自分で119番通報とAEDの手配をします。

## ③呼吸の確認

- 胸や胸部の上がり下がりを見て、普段どおりの呼吸をしているか判断します。



乳児の胸骨圧迫部位



乳児への胸骨圧迫

## ④胸骨圧迫

- 圧迫の位置は、両乳頭を結ぶ線の少し足側を目安とした胸の真ん中です。
- 胸骨圧迫は指2本で行います。
- 1分間に少なくとも100回の速いテンポで30回連続して絶え間なく圧迫します。
- 圧迫の強さ(深さ)は、胸の厚さの約1/3を目安として、十分に沈む程度に、強く、早く、絶え間なく圧迫します。乳児だからといって、こわごわと弱く圧迫しては効果が得られません。

## ⑤人工呼吸

- 準備ができ次第人工呼吸を開始します。基本的には、まず胸骨圧迫を開始した後、気道確保を実施して人工呼吸を2回行いますが、胸骨圧迫よりも早く人工呼吸が行えるのであれば、人工呼吸から心肺蘇生を行ってもかまいません。
- 乳児の大きさでは、口対口人工呼吸を実施することが難しい場合があります。この場合は、傷病者の口と鼻を同時に自分の口で覆う口対口鼻人工呼吸を行います。



乳児への人工呼吸(口対口鼻人工呼吸)

## ⑥心肺蘇生(胸骨圧迫と人工呼吸)を継続

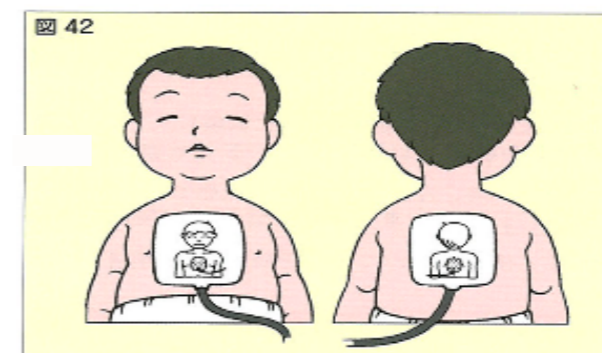
- 胸骨圧迫を30回連続して行った後に、人工呼吸を2回行う組み合わせを絶え間なく続けます。

## ⑦～⑪AEDの使用

- 乳児にも、AEDを使用できます。
- AEDに小児用電極パッド(小児用モード)が備わっている場合にはそれを用います(切り替えます)。もし、小児用電極パッド(小児用モード)が備わっていない場合は、成人用電極パッドを使用します。
- 電極パッドを貼る位置は、電極パッドに表示されている絵に従います。

## 参考

小児用電極パッドの中には、胸と背中に張るタイプのものがあります。



小児用電極パッドを貼り付ける位置